

水の郷を今に伝えるエコミュージアム

埼玉県指定天然記念物

うき や

「加須の浮野とその植物」

「浮野」の由来に歴史あり

- ◆氷河期に形成された地下谷の堆積物により形成。
- ◆洪水の際に冠水せず浮上したことから、「浮いている原野＝浮野」と呼ばれたとされる。
- ◆洪水対策に築かれた堤防跡が「クヌギ並木」として、また新田開発の際の水路跡が「田堀」として現存。

新緑のクヌギ並木遊歩道(4月下旬) ▶



身近に残る豊かな自然

- ◆湧出する低温の地下水により、ノウルシ、トキソウ、クサレダマ、エゾミソハギなど、希少な湿地性・高原性植物が自生。
- ◆オオタカ、アリスイ、ヨシキリなど、多くの野鳥が飛来。

◀ 色鮮やかなノウルシの群生(4月上旬)

地域全体が自然と文化の博物館

- ◆次代に残すべき優れた自然や歴史的環境であるとして、平成20年度、「緑のトラスト保全地」に指定。
- ◆地域住民団体「浮野の里・葦の会」による保全・活用が行われ、豊かな自然とそこに住む人の営みを今に伝える「エコミュージアム」となっている。

「浮野の里・あやめ祭り」の田堀周遊(6月中旬) ▶





▲春の芽吹きに備える「ヨシ焼き」(1月下旬)

「浮野の里」案内図

●鉄道・バスのご利用

東武伊勢崎線加須駅下車

・市バス「かぞ絆号」
シャトルバス(日曜・祝
日・年末年始運休)

加須駅南口発「高橋」バ
ス停下車後、ちりじの橋
まで徒歩約30分

・市観光レンタサイクル
(加須商工会館)利用、
うきや橋まで約30分

●お車のご利用

・東北自動車道加須イン
ターチェンジから栗橋方
面へ向かい、「浮野の里
(南)」交差点を左折後、
うきや橋まで約5分



▼小学生向け「昆虫観察会」(8月上旬)



▼小学生向け「水生生物観察会」(8月上旬)